

令和6年6月10日

江差町議会議長 萩原 徹 様

社会文教常任委員会
委員長 大門 和幸



委員会調査報告について

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第78条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 1 調査事件 令和5年 第3回定例会
 発議第5号 親子で楽しめる健康的な空間づくりに関する事務調査

- 2 調査期日
 令和5年 8月31日 事務調査内容協議
 10月17日 今後の取り組みについて
 10月24日 今後の取り組みについて
 11月22日 担当課ヒアリング（まちづくり推進課）
 先進地視察について
 令和6年 1月11日 先進地行政視察（質問項目の検討）
 2月 6日～ 7日 先進地行政視察（岩手県久慈市）
 2月20日 行政視察まとめ
 5月16日 委員会報告について

3 調査の目的

新しい道の駅が建設される江差町のシンボル・かもめ島は、開陽丸をはじめ、いにしえよりニシン漁や北前船交易により一時代を築き活況を呈した「歴史」や、折居伝説や義経伝説など今に語り継がれる「伝説」、島と夕日のコントラストや島上から大海原を望む「景観」など、様々な魅力が多いスポットであり、江差町の歴史はかもめ島から始まったと言っても過言ではない。かもめ島をはじめとした江差町の歴史的背景から、多くの文化遺産や歴史的建造物を有し、日本遺産に認定されるなど、町内・道内のみならず価値が広く認められている。

道の駅が先駆的な中核施設として、かもめ島の歴史・日本遺産のストーリーに充分配慮し、建物デザインや展示、遊具、イベント、インフラ等に取り入れ、「子ども」も「大人」も「地域」も共通して楽しみ満足出来る計画を積極的に検討いただきたい。

また、北の江の島拠点施設（道の駅）の整備基本計画では、『エエ町、江差で、エエ時間 親子のたまりば・かもめ島』をコンセプトに、道南エリア満足度ナンバーワンの「道の駅」を目標としている。計画の方針の一つに、『多様な交流でつながり、子育てしやすい施設であること』を基本に、“親子のたまりば”とした江差町の“のびのび子育て”応援の中心施設として、町民同士が交流し、子育てしやすい環境を提供すると謳われている。

当委員会とすると、道の駅が“親子のたまり場”としてどのような施設が望ましいのか、地域に根差し、親子連れにとって満足度ナンバーワンの道の駅にするため、「親子で楽しめる健康的な空間づくり」として調査を立ち上げ、先進地視察を1回、まちづくり推進課からの説明を受け、意見交換を行ったほか、委員会を7回開催し、検討を重ねてきた。

ニシンの繁栄で「江差の5月は江戸にもない」と謳われたかもめ島が、もう一度賑わいのあるランドマークとなることを願い、調査結果について意見を付して報告する。

4 先進地行政視察

委員会内で3回の協議、担当課からのヒアリングを実施し、質問事項を検討の上、岩手県久慈市「道の駅 いわて北三陸」（以下、「視察先施設」と言う。）へ先進地行政視察をおこなった。

別添 先進地行政視察顛末書のとおり

5 調査の結果

(1) 子どもの施設配置について

- ・ 通常、施設の端に屋内のキッズスペースがあることが殆どだが、視察先施設では、子どもが遊ぶ姿をどこからでも見守れるという観点から、屋内施設中央にキッズスペースを設けている。また、中心に置くことで、親以外でも「みんなで子どもを見る・育てる」という意識や意味を持たせている。
- ・ 拠点施設においても屋内キッズスペースを配置する予定となっており、子育てしやすい施設、子どもの安全性を担保できるような施設配置を配慮する必要がある。併設予定の施設との動線が出来ること、来場する大人の目が行き届き、危険を未然に防ぐことが出来る施設配置となる様、検討いただきたい。

(2) 子育て支援の充実について

- ・ 視察先施設のコンセプトのひとつが「子どもが楽しく遊べる秘密基地」であり、屋内のキッズスペースには大型遊具、屋外には㈱ポケモンと連携協定による『イシツブテ公園』が設置されている。遊具にも工夫が見られ、子どもの冒険心を煽る施設である。
- ・ 小児子ども用トイレや授乳室、オムツ交換スペース等使用するに十分な広さがある。また、オムツの自動販売機もあり、小さなお子様連れの来客者も安心して長い

時間を過ごせる様、配慮された施設であることが伺えた。

- ・ 『北の江の島拠点施設整備基本計画』では子育て応援の中心施設として位置付けているため、子どもの遊び場はもちろんの事、安心して長い時間過ごし、またここに訪れたいと思われる“親子たまりば”を目指し、小児子どもが充分楽しめ、親も手軽に子どもを連れて来ることが出来る様、親子に手厚い施設となる様検討いただきたい。
- ・ 子ども向けのイベントは、親や祖父母等の来客も見込め、集客の起爆剤となり得る。道の駅の賑わいを持たせる観点から、認定こども園や教育委員会等とタイアップし幅広く検討する必要があると考える。

(3) 施設の安全防災対策について

- ・ 視察先施設は高台に位置し、国が発表している大津波が来た場合の想定においても、津波の被害を受けない区域である。

一方、近くには川が流れ、大雨等で氾濫した場合に避難所とすることが難しいことから、緊急避難所の指定は受けていない。付近にある防災公園が避難所となっており、道の駅は防災備蓄倉庫を設置し、緊急時の物品を備蓄している。

施設では BCP の策定を進めると共に、災害を想定した年 2 回の避難訓練を実施し、防災意識づけを行っている。

- ・ 施設の地震対策としては、耐震性の高い建物とすることはもちろん、専門家や有識者等の意見を取り入れ、地震による施設被害や物品倒壊等による人的被害を最小限に抑える施設設計とすることが重要と考える。
- ・ 津波対策としては、避難経路や避難場所の設置、さらには津波警報システムの導入など、津波への備えが必要である。建物自体の高さや構造も津波に対する耐性を考慮すると共に、地震・津波発生時の避難経路や避難場所を明確に示し、定期的に従業員や利用者への避難訓練を徹底実施することが必要である。これにより、災害発生時の混乱を最小限に抑え、地域の安全性と災害時の迅速な対応が可能となる。

(4) 施設の建設資材及び再生可能エネルギーの活用について

- ・ 視察先施設の殆どが木材に囲われ、子ども用遊具も木で出来ている。空間も広く、木のぬくもりを感じる施設である。使用されているものは様々な木材を混ぜて使われており、地元の木材が主に使われている。

また、施設屋根には太陽光パネルがあり、蓄電された電気は主に施設内物販の電気に利用されている。

- ・ 拠点施設の設計はこれからとなるが、資材に木材を使う場合においては、道産材を使い、地産地消となるよう考慮いただきたい。
- ・ 当町も令和 5 年 3 月に『江差町地域再エネマスタープラン』を策定し、地域脱炭素社会実現へ指針を定めたところであり、風力や太陽光といった再生可能エネルギーの活用を積極的に推進していくことが望ましい。

社会文教常任委員会

先進地行政視察 顛末書



日 程 令和6年2月6日 10:30~12:00

場 所 岩手県久慈市 道の駅「いわて北三陸」

参加者 大門委員長、西海谷副委員長、飯田委員、室井委員、小梅委員

岩手県久慈市道の駅いわて北三陸

【施設整備経緯】

岩手県を始め、甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興事業として、高規格道路である三陸沿岸道路の整備が進められた。道路開通にあたっては、地域経済の波及効果、観光客等の交流人口拡大が期待される一方、ストロー現象による地域衰退を懸念する声もあり、整備効果を地域に普及させる取り組みとして、久慈市、洋野町、野田町、普代村の4市町村で広域連携による道の駅の整備について検討を開始した。



【経 過】

- 平成26年度 久慈市、洋野町、野田町、普代村の4市町村の首長で構成する「久慈広域行政研究会」で広域道の駅整備の検討を開始
 - 平成28年度 広域道の駅整備候補地を「久慈北IC周辺」に決定
 - 平成29年度 「整備基本計画」の策定
 - 平成30年度 「整備計画」の策定
 - 令和元年度 4市町村負担割合の確定、DBO方式公募型プロポーザル募集
 - 令和2年度 DBO事業者の決定（基本契約、工事契約）基本設計完成、実施設計着手
事業者 施設整備：《代表企業》宮城建設㈱、㈱久慈設計久慈、㈱藤森測量設計
指定管理：シダックス大新東ヒューマンサービス㈱
 - 令和3年度 用地取得完了(約1.6ha)、三陸国道事務所と施設建設に関する協定の締結、工事着手、実施設計完成、設置条例制定、道の駅名称募集・選定、テナント募集（指定管理者）
 - 令和4年度 指定管理協定、道の駅登録、商品開発セミナー、産直出荷・納品募集説明会(主催:細谷地㈱)、イシツブテ公園寄贈式、竣工
 - 令和5年度 4月19日道の駅いわて北三陸開業、4月28日イシツブテ公園開園
- ※ このほか、市議会の議決及び事務事業説明等、広域市町村担当者会議、道路管理者会議、住民情報説明会、市内商工・観光関係者との情報交換、DBO事業者定例打合せ等を随時実施。

【施設概要】

- 名 称 道の駅：「道の駅いわて北三陸」
公 園：イシツブテ公園
- 面 積 敷地面積1.5ha、建築 2,794㎡、延床 2,338㎡
※屋根付きイベント広場等含む
- 構 造 木造平屋建て一部鉄骨造り
- 駐 車 場 一般車131台、大型車20台 計151台（EV含む）
- そ の 他 民説民営によるガソリンスタンド整備・設置
コンサルによるアドバイザー業務
- 営 業 時 間 9:00～19:00（情報発信・休憩スペースは24時間）

〔施設マップ〕



〔施設特徴〕

・ 広域連携の道の駅

久慈広域市町村の玄関口として、三陸沿岸道路利用者等が立寄り、地域資源へ誘導する「北三陸の“海・山・里・ひと”をつなぐ交流拠点施設」を目指し、広域市町村の関係機関・団体と連携し、地域の魅力を発信。

・ 久慈北ICすぐの立地、GSも併設

立地は久慈北IC降りてすぐの場所。また、民説民営によるガソリンスタンドも整備されており、三陸道の利用者にとって利便性の高い環境。

・ 久慈広域の情報発信と商品販売で地域をPR

施設内の情報発信・休憩スペースに設置する「市町村ブース」をはじめ、デジタルサイネージ、広域市町村案内板（四季で切り替わり）、リーフレット、SNSなどで久慈広域の情報を発信。

販売する商品も地元の特産品を中心に展開。フードメニューも地場産品を活用し、食の面からも地域をPRする。

・ 子育て支援の機能も充実

コンセプトの一つが、「子供が楽しく遊べる秘密基地」。屋内のキッズスペースに大型遊具を備え、雨天時でも楽しく遊ぶことができるほか、屋外のイベント広場には、㈱ポケモンとの連携協定による「イシツブテ公園」が設置されている。そのほか、専用のおむつ交換・授乳室やキッズトイレに加え、キッズスペースを見守りながら飲食ができるフードコートもあり、小さなお子様連れのお客様にも安心して利用できる。

〔来場状況〕

- ・ 4月19日オープンから12月末現在で約83万人の来場があり、物産館利用者は24万人と順調に推移している。実績としては想定通り。
- ・ 指定管理者が実施した来場者の分布調査では、5月は約半数が八戸市を含む青森県からの来場、11月は岩手県からの来場が約半数、青森県が3割。元々八戸方面の利用者をターゲットの一つと考え、指定管理者においてテレビ・新聞折込等で積極的にPR活動を行っており、効果が表れた。

〔質疑概要〕

1 キッズスペース「楽しく遊べる秘密基地」について

質 地元住民や親のコミュニティの意見をどの程度取り入れているか。

答 意見交換会を通じ全天候型遊具施設を望む声があり、住民のニーズに合った内容とした。

質 管理者の配置等、安全管理はどのように行われているか。

答 キッズスペースは無料の施設により、常時、管理者がいる状況ではない。見回りや混雑時に注意喚起の館内放送を実施。

質 定期的なプログラムやイベントの提供はあるか。

答 道の駅の運営において、子供たちが楽しめる年中イベント等を実施。

質 子供たちの教育的な側面や創造性を促進するための取組みはあるか。

答 塗り絵、折り紙、謎解きゲーム等各イベントに合わせ子供向けの企画を実施。教育面は道の駅運営とは別となり、実施していない（指定管理者回答）。

質 ユニバーサルデザインの考慮はあるか。心身的制約のある子供に適した遊び場はあるか。

答 施設設計に関し、ユニバーサルデザインに配慮する様要求基準に記載。キッズスペースは年齢制限を設けておらず、心身的制約のあるお子さんでも、保護者が同伴し利用可能。

質 コンセプト「子供が楽しく遊べる秘密基地」の空間づくりや遊具等でこだわった点は。

答 小児周囲遊遊具：木のぬくもり、香りを感じながら遊べる点。
タワーすべり台：冒険心を煽る、室内で遊べる点（指定管理者回答）。

2 施設の安全防災対策について

質 施設内の防災対策及び避難について、留意した施策はあるか。

答 事業所募集の段階から、防災備蓄倉庫の設置を要求基準に記載。
BCP策定を進め、年2回の避難訓練を通じ防災意識を意識づける（指定管理者回答）。

質 防災備蓄用倉庫の備蓄内容について①どの程度②備蓄している物品内容を教えてほしい。

答 防災救急用倉庫として、約50㎡を確保。備蓄品としてアルファ化米、ライスクッキー、備蓄用パン、おかゆ、保存水等備蓄。施設は避難所未指定により物資搬出が基本。

3 DBO方式について

質 DBO方式を採用実施した理由は。

答 メリットとして、サービスの質を落とさず、総事業費を抑えることが出来る。事業者へのアンケートから、DBO方式による事業実施の可能性が確認出来たことから、実施に至った。

質 DBO方式により、現在までの状況・成果等はあるか。

答 設計段階から運営事業者が参画しており、指定管理者が運営を行いやすい施設となっている。不具合等も指定管理者から施工業者へ直接相談し、不具合解消をおこなっている。

質 施設完成後に感じた問題点等はあるか。

答 施設構造物の金属接合部で発生した結露、エアコン吹き出し口付近の結露、行楽シーズン中イベント等開催時の駐車場の混雑等があげられる。

質 (指定管理者へ) プロポーザルにおいて、事業者としてアピールした点は。

答 設計、建設は地元企業で行いながらも、運営は全国実績を持つ事業者でなければ運営ノウハウが弱くなるため、当社の様に多種多様な実績が必要であることをアピールした。

4 当日質疑(抜粋)

質 指定管理者の雇用体系は。

答 駅長・副駅長他合計7名体制であり、7名のうち障がい者枠の雇用もある。

質 新しい道の駅が緊急避難所に指定されない要因は。

答 国発表により、当施設は津波が来ない区域だが、大雨等で川が氾濫した場合に当施設を避難所とすることが難しいため。付近に防災公園があるのでそちらが避難所となる。

質 他の施設と比べ、キッズコーナーを真ん中に置くことは特徴的であるが、コンセプトは。

答 室内に大型遊具を置く場合、屋根が高くなることから、施設全体の外観を考えた時、真ん中に遊具を置き、シンボルになる様、施設計画を進めてきた。

質 買い物・観光案内所等動線を考慮しでも、真ん中に遊具施設があることは、屋外遊具と連動した形となっており面白い。意識して真ん中にある理由は。

答 当初設計の際は端側で設定されていたが、家族連れで遊ぶ、子供が遊ぶ姿をどこからでも見守れるという観点、「みんなで子供を見る・育てる」という意味も込め真ん中に配置。

質 施設内木材がふんだんに使われ、空間も広く素晴らしいアイデア。木材は地元産か。

答 様々な木材を混ぜているが地元産である。

質 道の駅にガソリンスタンドがあることは珍しいと思うが。

答 三陸沿岸道路及び付近エリアにガソリンスタンドが無いため設置に至った。

質 道の駅内で自然エネルギーは使われているのか。

答 太陽光パネルがあり、物販の照明等に電気が利用されている。

質 指定管理者は、北海道内の道の駅で指定管理しているところはあるのか。

答 北海道内と言うと、遠別町及び真狩村の道の駅に関わっている。

5 その他（担当者からの参考情報等）

- ・ 施設完成後、柱と梁の接合部（金属）が結露したため、コーキングで隙間を埋めた。
- ・ 物販コーナー上部窓（南側）より日差しが強く入り、生鮮品に日差しが当たるのを防ぐため、遮光フィルムを追加で貼った。
- ・ 駐車場での車中泊は原則禁止としているが、利用者也禁止であることが浸透しておらず、わかっている状況。
- ・ 24時間利用可能トイレ前のホールで仮眠をとる利用者がいる。（電源があり利用するためか）
- ・ イシツブテ公園は㈱ポケモンより寄贈があり、急遽追加で屋外公園を作った。



道の駅いわて北三陸正面外観



久慈市議会濱欠議長歓迎挨拶



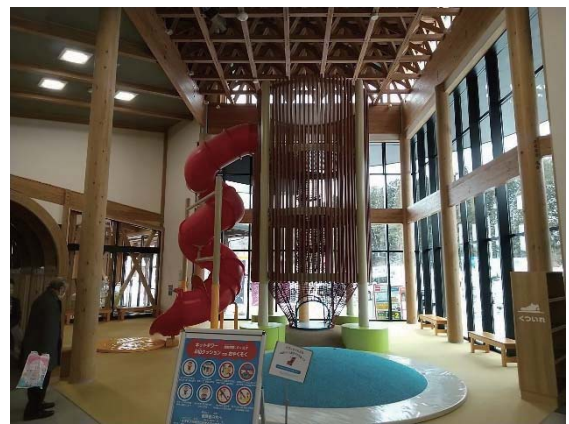
代表者挨拶 大門委員長



担当者説明後の質疑



施設内フードコート



中央にある施設内大型すべり台



中央にあるキッズスペース①



中央にあるキッズスペース②



中央にあるキッズスペース③



キッズスペースとフードコートを繋ぐトンネル



物販コーナー見学①



物販コーナー見学②



4市町村情報発信スペース



道の駅窓口



デジタルサイネージ



24時間利用可能トイレ



オムツ交換スペース



授乳室



小児子供用トイレ



オムツの自動販売機



四季により変わる4市町村案内板



併設するガソリンスタンド



イシツブテ公園



代表者挨拶 西海谷副委員長

